

4 合わせた教科と時数の確認



a 小学校：特別支援学級（B表）

「教育課程表」及び「指導の形態別年間授業時数配当表」を基に、次の3点を確認及び検討します。

- ① 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科とその時数の確認
→ 「教育課程表」と「指導の形態別年間授業配当表」の授業時数の差
- ② 「各教科等を合わせた指導」を実施する時数の確認
- ③ 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科について、生活単元学習で実施する時数の検討



生活単元学習として「合わせた教科」は、生活単元学習において指導し、評価を行う教科と考えます。評価は、その教科の目標に対して行います。

4 合わせた教科と時数の確認：a 小学校特別支援学級（B表）

○ 「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる場合は、「各教科等を合わせた指導」の中で取り扱う教科の内容（領域）及び時数を明らかにします。

X 合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

例

- ① 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科等の時数
「教育課程表」と「指導の形態別年間授業配当表」の授業時数の差から、「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科の時数を確認します。

「教育課程表の時数」 - 「指導の形態別年間授業配当表の時数」 = 「各教科等を合わせた指導で実施する時数」

学年	教科	生活	国語	算数	音楽	図画 工作	体育	道徳	外国語 活動	総合	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
4年	授業時数	175	70	70		20					35	70	440
	割合												
	生単の時数												

「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる： $175 - 105 = 70$

「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科： $175 - 0 = 175$

② 生活単元学習で実施する時数

学年	教科	生活	国語	算数	音楽	図画 工作	体育	道徳	外国語 活動	総合	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
4年	授業時数	175	70	70		20					35	70	440
	割合	6	6	7		10					6	6	
	生単の時数	105	42	49		20					21	42	279

「生活単元学習」と「日常生活の指導」に分ける
生活 175 時間のうち「生活単元学習で6割」「日常生活の指導で4割」実施する

*生活単元学習と日常生活の指導を合わせたら、10割になるようにします。

「生単の時数」の合計が、生活単元学習の総時数とおおむね一致するようにします。

「生単の時数」の合計 279 時間 ≒ 生活単元学習の総時数 280 時間

*生活単元学習でのみ実施する→割合は10

例：4年 教育課程表

番号	学年	各教科										特別 活動	自立 活動	総 授業 時数
		生 活	国 語	算 数	音 楽	図 画 工 作	体 育	道 徳	外 国 語 活 動	外 国 語 活 動	の 総 合 的 な 学 習			
2	4	175	175	175	60	80	105	35	35	70	35	70	1015	

指導の形態別年間授業時数配当表

番号	学年	各教科等を 合わせた指導		各教科										特別 活動	自立 活動	総 授業 時数
		指 導 の 時 数	指 導 の 時 数	生 活	国 語	算 数	音 楽	図 画 工 作	体 育	道 徳	外 国 語 活 動	外 国 語 活 動	の 総 合 的 な 学 習			
2	4	160	280	—	105	105	60	60	105	35	35	70	—	—	1015	

注意：特別支援学級で実施する時数と交流学級で実施する時数の合計で示している。

生活単元学習で実施する時数

学年	教科	生活	国語	算数	音楽	図画 工作	体育	道徳	外国語 活動	総合	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
4年	授業時数	175	70	70		20					35	70	440
	割合	6	6	7		10					6	6	
	生単の時数	105	42	49		20					21	42	279

c 中学校：特別支援学級（B表）

「教育課程表」及び「指導の形態別年間授業時数配当表」を基に、次の3点を確認及び検討します。

- ① 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科とその時数の確認
→ 「教育課程表」と「指導の形態別年間授業配当表」の授業時数の差
- ② 「各教科等を合わせた指導」を実施する時数の確認
- ③ 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科について、生活単元学習で実施する時数の検討



生活単元学習として「合わせた教科」は、生活単元学習において指導し、評価を行う教科と考えます。評価は、その教科の目標に対して行います。

例：2年
教育課程表

番号	学年	各教科										特別の 徳科	総合的 な学 習	特別 活 動	自 立 活 動	総 授 業 時 数
		国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	職 業 ・ 家 庭	外 国 語	道 徳					
	2	140	105	105	125	35	35	105	70	120	35	70	35	35	1015	

指導の形態別年間授業時数配当表

番号	学年	各教科等を 合わせた指導			各教科										特別の 徳科	総合的 な学 習	特別 活 動	自 立 活 動	総 授 業 時 数	
		指 導	日 常 生 活 の 指 導	生 活 単 元 学 習	作 業 学 習	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 健 体 育	職 業 ・ 家 庭	外 国 語						道 徳
	2				140	105	105	70	70	105	35	35	105	-	105	35	70	35	-	1015

注意：特別支援学級で実施する時数と交流学級で実施する時数の合計で示している。

生活単元学習で行う割合

学年	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	職業 家庭	外国語	道徳	総合	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
		2年	授業時数	35	35	35	20				70	15			
	割合	8	6	6	10				2	10				6	
	生単の時数	28	21	21	20				14	15				21	140

4 合わせた教科と時数の確認：c 中学校特別支援学級（B表）

- 「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる場合は、「各教科等を合わせた指導」の中で取り扱う教科の内容（領域）及び時数を明らかにします。

X 合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

例

- ① 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科等の時数
「教育課程表」と「指導の形態別年間授業配当表」の授業時数の差から、「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科の時数を確認します。

「教育課程表の時数」 - 「指導の形態別年間授業配当表の時数」 = 「各教科等を合わせた指導で実施する時数」

学年	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	職業 家庭	外国語	道徳	総合	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
		2年	授業時数	35	35	35	20				70	15			
	割合														
	生単の時数														

「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科：70 - 0 = 70

「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる：140 - 105 = 35

家庭分野を「教科別の指導」で行う場合は、注意しましょう

②生活単元学習で実施する時数

学年	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	職業 家庭	外国語	道徳	総合	特別 活動	自立 活動	時数の 合計
		2年	授業時数	35	35	35	20				70	15			
	割合	8	6	6	10				2	10				6	
	生単の時数	28	21	21	20				14	15				21	140

「生活単元学習」と「作業学習」に分ける
国語 35時間のうち「生活単元学習で8割」「作業学習で2割」実施する

*生活単元学習と作業学習を合わせたら、10割になるようにします。

「生単の時数」の合計が、生活単元学習の総時数とおおむね一致するようにします。
「生単の時数」の合計時間 140時間 = 生活単元学習の総時数 140時間

*生活単元学習でのみ実施する→割合は10

d 中学校：特別支援学級（C表）

「教育課程表」及び「指導の形態別年間授業時数配当表」を基に、次の4点を確認及び検討します。

- ① 知的障がい特別支援学校の教科に替えた教科等の確認
- ② 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科とその時数の確認
→ 「教育課程表」と「指導の形態別年間授業配当表」の授業時数の差
- ③ 「各教科等を合わせた指導」を実施する時数の確認
- ④ 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科について、生活単元学習で実施する時数の検討

例：1年
教育課程表

番号	学年	各教科等	各教科										特別活動	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動	総授業時数		
			国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業・家庭	外国語	道徳							
	1	当・下・知	下5年	知	知	知	当	当	当	知	下4年	当							
		時数	120	105	140	105	45	45	105	70	125	35	50	35	35	10	15		

指導の形態別年間授業時数配当表

番号	学年	各教科等を合わせた指導		各教科										特別活動	総合的な学習の時間	特別活動	自立活動	総授業時数	
		指日常生活	生活単元学習	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業・家庭	外国語	道徳						
	1		140	70	120	70	105	70	45	45	105	-	125	35	50	35	-	10	15

注意：特別支援学級で実施する時数と交流学級で実施する時数の合計で示している。

生活単元学習で行う割合

学年	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業・家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	自立活動	時数の合計
1年	授業時数		35	35	35				70					35	210
	割合		8	7	10				4					7	
	生単の時数		28	24.5	35				28					24.5	140

4 合わせた教科と時数の確認：d中学校特別支援学級（C表）

○ 「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる場合は、「各教科等を合わせた指導」の中で取り扱う教科の内容（領域）及び時数を明らかにします。

X 合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

例

- ① 知的障がい特別支援学校の教科に替えた教科等
- ② 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科等の時数
「教育課程表」と「指導の形態別年間授業配当表」の授業時数の差から、「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科の時数を確認します。

「教育課程表の時数」 - 「指導の形態別年間授業配当表の時数」 = 「各教科等を合わせた指導で実施する時数」

学年	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業・家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	自立活動	時数の合計
1年	授業時数		35	35	35				70					35	210
	割合														
	生単の時数														

「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科：70 - 0 = 70

「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる：105 - 70 = 35

家庭分野を「教科別の指導」で行う場合は、注意しましょう

③ 生活単元学習で実施する時数

学年	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業・家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	自立活動	時数の合計
1年	授業時数		35	35	35				70					35	210
	割合		8	7	10				4					7	
	生単の時数		28	24.5	35				28					24.5	140

「生活単元学習」と「作業学習」に分ける
社会 35 時間のうち「生活単元学習で8割」「作業学習で2割」実施する
*生活単元学習と作業学習を合わせたら、10割になるようにします。

「生単の時数」の合計が、生活単元学習の総時数とおおむね一致するようにします。
「生単の時数」の合計 140 時間 = 生活単元学習の総時数 140 時間

*生活単元学習でのみ実施する→割合は 10

e 特別支援学校

「教育課程表」及び「指導の形態別週当たり授業時数（指導の形態別）」を基に、次の3点を確認します。

- ① 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科とその時数
→ 「教育課程表」と「指導の形態別週当たり授業時数」の授業時数の差
- ② 「各教科等を合わせた指導」を実施する時数
- ③ 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科について、生活単元学習で実施する時数の検討



生活単元学習として「合わせた教科」は、生活単元学習において指導し、評価を行う教科と考えます。評価は、その教科の目標に対して行います。

例： 中学部

教育課程表

区分	学年等	1	2	3	重複
各教科	国語			100	
	社会			35	
	数学			100	
	理科			35	
	音楽			75	
	美術			70	
	保健体育			110	
	職業・家庭			245	
	外国語			-	
特別の教科道徳			35		
総合的な学習の時間			70		
特別活動			35		
自立活動			105		
合計			1015		

指導の形態別週当たり授業時数

区分	学年等	1	2	3	重複
教科別の指導	国語			2	
	社会			-	
	数学			2	
	理科			-	
	音楽			2	
	美術			1	
	保健体育			2	
	職業・家庭			-	
	外国語			-	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導			5	
	生活単元学習			7	
	作業学習			6	
特別の教科道徳			-		
総合的な学習の時間			2		
特別活動			-		
自立活動			-		
合計			29		

中学部

教科時数等	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	自立活動	時数の合計
授業時数	30	35	30	35	5	35	40	245		35		35	105	630
割合	6	6	6	6	10	7	2	2		5		6	4	
生単の時数	18	21	18	21	5	24.5	8	49		17.5		21	42	245

4 合わせた教科と時数の確認：e 特別支援学校

○ 「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる場合は、「各教科等を合わせた指導」の中で取り扱う教科の内容（領域）及び時数を明らかにします。

X 合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

例

① 「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科等
「教育課程表」と「指導の形態別週当たり授業時数表」から、「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科の時数を確認します。指導形態別の年間の総時数は、年間 35 週で計算します。

「教育課程表の時数」 - 「指導の形態別週当たり授業時数」 × 35 = 「各教科等を合わせた指導で実施する時数」

教科時数等	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	自立活動	時数の合計
授業時数	30	35	30	35	5	35	40	245		35		35	105	630
割合														
生単の時数														

「各教科等を合わせた指導」で取り扱う教科：245 - 0 = 245

「教科別の指導」で取り扱う教科の一部を合わせる：100 - 2 × 35 = 30

②①のうち生活単元学習で実施する時数
それぞれの教科の「各教科等を合わせた指導」で実施する時数のうち、「生活単元学習」でどのくらい実施するか、考えます。家庭分野を「教科別の指導」で行う場合は、注意しましょう

教科時数等	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	職業家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	自立活動	時数の合計
授業時数	30	35	30	35	5	35	40	245		35		35	105	630
割合	6	6	6	6	10	7	2	2		5		6	4	
生単の時数	18	21	18	21	5	24.5	8	49		17.5		21	42	245

「生活単元学習」と「日常生活の指導」「作業学習」に分ける
「生活単元学習で6割」「日常生活の指導で2割」「作業学習で2割」実施する。

*生活単元学習と日常生活の指導、作業学習を合わせたら10割になるようにします。

「生単の時数」の合計が、生活単元学習の総時数とおおむね一致するようにします。
「生単の時数」の合計 245 時間 = 生活単元学習の総時数 7 × 35 = 245 時間

5 年間指導計画

①教材の検討

①-1案

- 「学校行事と関連付けた単元」「季節や季節行事と関連付けた単元」「生活上の課題を基にした単元」「生活上の偶発的な事柄を基にした単元」について、それぞれ考えられる教材及び時期を検討します。
- 学級集団の興味・関心や学習経験、課題等を踏まえて検討します。

①-2絞り込み

- 生活単元学習で取り扱う教材と教科別の指導や特別活動等において取り扱う教材を検討します。
- 生活単元学習の過当たりの時数や、学期間、月の時数を確認し、教材の候補を絞ります。
- 関連する教材や組み合わせると効果的な教材を検討します。



X 合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

例

	1学期				2学期				3学期		
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事	入学式 遠足	運動会	交通安全教室		避難訓練	修学旅行 宿泊学習	学習発表会		マラソン大会		卒業式
季節・季節行事	春 桜	こどもの日 母の日	梅雨 田植え 父の日	夏 七夕 水遊び 暑中見舞い	お月見 敬老の日	秋 稲刈り 祭り ハロウィン	落ち葉 勤労感謝の日	クリスマス 年賀状	冬 お正月 雪 バレンタイン	節分	春 ひな祭り
生活上の課題	新学年	町探検	地域交流	夏休み 買い物				働く人 学校間交流 冬休み	書初め	校外学習	進学 進級 春休み
偶発的											
地域資源											

	1学期				2学期				3学期		
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		運動会			避難訓練	修学旅行	学習発表会				
季節・季節行事	春	母の日	父の日	敬老の日		田植え	稲刈り	クリスマス	年賀状	お正月	節分 雪 ひな祭り
生活上の課題	新学年	町探検	地域交流		買い物			働く人	書初め	校外学習	進学 進級
偶発的											
地域資源											

学校行事と関連付けた単元	「運動会を頑張ろう」 「文化祭を成功させよう」 「学習発表会を楽しもう」
季節や季節行事と関連付けた単元	「春を探そう」 「楽しいお祭り」 「もうすぐお正月」
生活上の課題を基にした単元	「校外学習に行こう」 「買い物をしよう」
生活上の偶発的な事柄を基にした単元	「お見舞いに行こう」 「転校した友達に会いに行こう」 「雪遊びをしよう」

参考：生活単元学習指導の手引（文部省）

[活動の種類]

- ・遊ぶ
- ・働くこと
- ・作る
- ・音楽やスポーツ
- ・宿泊や旅行
- ・発表
- など



Point

子どもに関すること

- 子どもの実態や興味・関心に応じる
- 子どもの思考のつながりがある

地域に関すること

- 地域の物的資源や学校の特色を生かす
- 生活年齢に応じた地域の人的資源を生かす

単元に関すること

- 単元間の関連性や学びの系統性、偏りのない学習内容を大切にする
- 学習内容や活動に発展性がある
- 人との関わりを保障する
- 単発の単元だけで構成されていない

他教科等に関すること

- 他教科等の年間指導計画との関連性を考慮する
- 他教科等の学びを生かして、学習内容が発展する

②教材間のつながりの検討

各教材の関連性や学びの系統性など、教材間のつながりを考えます。

例

	1学期				2学期				3学期		
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		運動会			避難訓練	修学旅行	学習発表会				
季節・季節行事	春			夏	秋			冬	節分	ひな祭り	
		母の日	父の日		敬老の日			クリスマス		雪	
				七夕	お月見			年賀状	お正月		
			田植え			稲刈り					
				暑中見舞い		祭り ハロウィン					
			野菜の栽培								
生活上の課題	新学年	町探検	地域交流			買い物		働く人	校外学習	進学 進級	
偶発的								学校間 交流			
地域資源											

③取り扱う教材の精選と単元化

単元間のつながりや各教科のバランスを考えながら、実施する単元を精選します。

	1学期				2学期				3学期		
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		運動会			買い物	修学旅行	働く人			校外学習	
		運動会を頑張ろう				いろいろな仕事と働く人を調べよう					
						学習発表会					
						学習発表会を成功させよう					
季節・季節行事	春			夏	秋			冬			
					季節を見付けよう						
		母の日	父の日		敬老の日						
		ありがとうを伝えよう						年賀状	お正月 書初め		
				田植え		稲刈り				新年の誓いを立てよう	
				地域交流							
					おにぎりを作ろう						
				暑中見舞い		祭り ハロウィン					
					季節の手紙を書こう						
					日本の祭りと世界の祭りを比べよう						
					野菜の栽培						
					季節の野菜を育てよう						
生活上の課題	新学年	町探検						学校間交流	クリスマス		進学 進級
								オリジナルマップを作ろう			
								クリスマス会を楽しもう			
											かっこいい〇年生になろう
偶発的											
地域資源											

5 年間指導計画：②教材間のつながりの検討

- ㊸学習内容に関連性がある
- ㊹学習活動を発展させることが可能
- ㊺主たる学習活動が類似していて、目標を発展させることが可能
- ㊻学習活動や成果を活用・応用することが可能

5 年間指導計画：③取り扱う教材の精選と単元化

- 学級集団の興味・関心や課題を踏まえているか
- 教科の偏りがいないか
- 教科の内容に偏りがいないか
- 教科別に実施する教科との関連性はあるか
- 単元に掛ける時間を十分に確保することができるか

など

単元ですることや目標を子どもが分かるように、単元名を設定します。

例

教材	単元名
「運動会」	→ 「運動会を頑張ろう」
「米作り」	→ 「おにぎりを作ろう」
「野菜の栽培」	→ 「いろいろなやさいをそだてよう」(小低) 「季節の野菜を育てよう」(小高)

子どもの実態に合わせた表記にします。



補助資料1に、発達段階が異なる学級を想定した「①教材の検討」から「③取り扱う教材の精選と単元化」「教材間のつながり」の考え方の例を掲載しています。

「教材間のつながり」の考え方



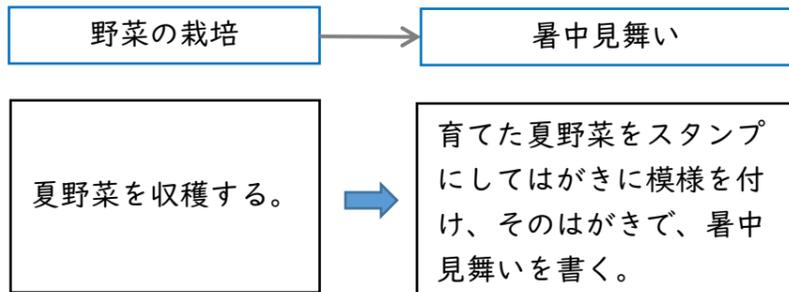
- ㉑学習内容に関連性がある
- ㉒学習活動を発展させることが可能
- ㉓主たる学習活動が類似していて、目標を発展させることが可能
- ㉔学習活動や成果を活用・応用することが可能

	1学期				2学期				3学期		
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事		運動会			避難訓練	修学旅行	学習発表会				
季節・季節行事	春			夏		秋		冬	節分	ひな祭り	
		母の日	父の日		敬老の日			クリスマス	雪		
				七夕	お月見			年賀状	お正月		
			田植え			稲刈り					
				暑中見舞い		祭り ハロウィン					
生活上の課題	新学年	町探検	地域交流		買い物		働く人	校外学習	進学 進級		
偶発的							学校間交流	書初め			
地域資源											

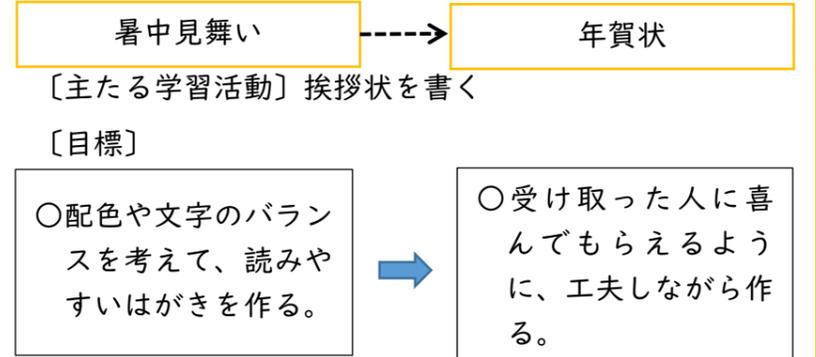
例1：㉑学習内容に関連性がある



例2：㉔学習活動や成果を活用・応用することが可能

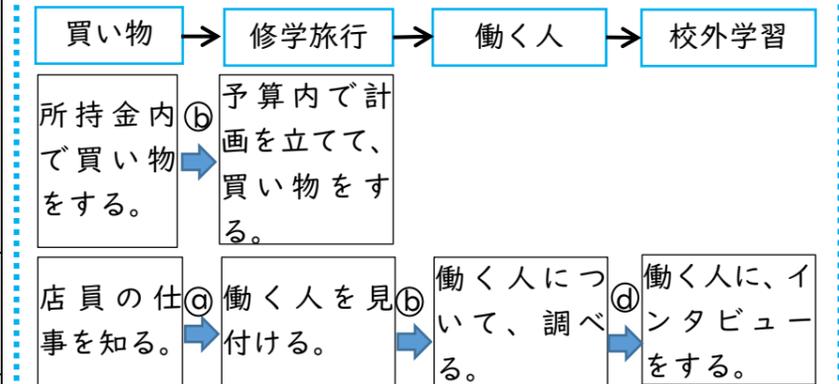


例3：㉓主たる学習活動が類似していて、目標を発展させることが可能



例4：㉑学習内容に関連性がある

- ㉒学習活動を発展させることが可能
- ㉔学習活動や成果を活用・応用することが可能



④主とする教科や主たる学習活動の検討

各単元について、中心的な課題に係る教科を検討し、主として取り上げる教科（以下、「主とする教科」という。）を示します。また、どのような学習活動ができるか、検討します。



例	1学期				2学期				3学期			
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
単 元	新入生をお迎えしよう 教科 教科 学習活動 ・ ・ ・	運動会を頑張ろう 生活 国語 算数 学習活動 ・ 招待状 ・ 得点表 ・ お礼状 例 1		季節の手紙を書こう 教科 教科 学習活動 ・ ・		日本の祭りや世界の祭りを比べよう 教科 教科 教科 教科 教科 教科 学習活動 ・ ・	学習発表会を成功させよう 教科 教科 教科 教科 教科 教科 学習活動 ・ ・	新年の誓いを立てよう 教科 教科 教科 学習活動 ・ ・			かけこい〇年生になろう 教科 教科 学習活動 ・ ・	
		オリジナルマップを作ろう 教科 教科 教科				いろいろな仕事と働く人を調べよう 教科 教科 教科 教科						
		学習活動 ・ : : : ・ : : : ・ : : :				学習活動 ・ : : : ・ : : : ・ : : :						
		ありがとうを伝えよう 教科 教科 教科				クリスマス会を楽しもう 生活 国語 算数 特活 学習活動 ・ 計画 ・ 飾り作り ・ ゲームの準備 ・ メッセージ動画 例 3						
		学習活動 ・ : : : ・ : : : ・ : : :				学習活動 ・ : : : ・ : : : ・ : : :						
		おにぎりを作ろう 教科 教科 教科										
		学習活動 ・ : : : ・ : : : ・ : : :										
		季節の野菜を育てよう 教科 教科 教科 教科										
		学習活動 ・ : : : ・ : : : ・ : : :										
		季節を見付けよう 生活 国語 算数 図工 学習活動 ・ 春の絵 ・ 虫捕り ・ 落ち葉や木の実集め ・ 木の実のおもち作り ・ 冬のもの 例 2										
偶発的												



「主とする教科」とは

生活単元学習として合わせた教科のうち、その単元において主に指導し、評価する教科を「主とする教科」とします。



「主たる学習活動」とは

各単元における中心的な学習活動を「主たる学習活動」とします。

5 年間指導計画：④主とする教科や主たる学習活動の検討

- 学級集団の興味・関心やこれまでの経験、課題等を踏まえて検討します。
- 地域の物的資源や学校の特色を生かす学習活動や地域の人的資源を生かす学習活動を検討します。
- 年間を通して、合わせた教科が全て含まれているか、主とする教科や主たる学習活動に偏りはなかなど、確認します。



Point

- 「主とする教科」から「主たる学習活動」を考える
- 「主とする教科」と「主たる学習活動」の関連や妥当性を往還しながら考える
- 年間を通して精選した単元を見直し、「主とする教科」や「主たる学習活動」のバランスを見直し、必要に応じて、適宜、修正する

〔活動の種類〕

- ・遊ぶ
- ・働くこと
- ・作る（製作や調理）
- ・音楽やスポーツ
- ・宿泊や旅行
- ・発表
- など

「主とする教科や主たる学習活動」の考え方

例1

単元「運動会を頑張ろう」

主とする教科
<ul style="list-style-type: none"> 生活（日課・予定／社会の仕組みと公共施設） 国語（書くこと） 算数（測定）

↓ ↑

教科	学習活動
生活（日課・予定） 算数（測定）	1 運動会に向けて準備をしよう ・日時や種目を確認する 計画 ・オリジナルプログラムを作る
国語（書くこと） 生活（社会の仕組みと公共施設）	2 招待状を送ろう 招待状 ・招待状を作る ・郵便局から送る
特別活動	運動会
生活（日課・予定） 算数（測定） 国語（書くこと）	3 運動会を振り返ろう 得点表 ・オリジナル得点表を作る ・感想を書く
国語（書くこと） 生活（社会の仕組みと公共施設）	4 お礼状を送ろう お礼状 ・お礼状を書く ・ポストに投函する

例2

単元「季節を見付けよう」

主とする教科
<ul style="list-style-type: none"> 生活（生命・自然／遊び） 国語（聞くこと・話すこと／読むこと） 算数（図形） 図画工作（表現）

↓ ↑

教科	学習活動
生活（生命・自然） 国語（読むこと） 算数（図形）	1 春を描こう 春の絵 ・絵本を読む ・校庭で春の植物や生き物を探す ・スタンプを組み合わせて、春の植物や生き物を描く
生活（生命・自然） 図画工作（表現）	2 虫を捕まえよう 虫捕り ・近くの公園で虫取りをする ・捕まえた虫を、紙粘土で作る
生活（生命・自然） 国語（聞くこと・話すこと） 算数（図形）	3 いろいろな葉っぱや木の実を集めよう 落ち葉や木の実集め ・学校周辺を散策し、葉っぱや木の実を集める ・集めた葉っぱや木の実を、色や形で分類し、紹介する
生活（生命・自然） 生活（遊び） 図画工作（表現）	4 木の実でおもちゃを作ろう 木の実のおもちゃ作り ・おもちゃを作る ・遊ぶ
生活（生命・自然） 国語（読むこと） 国語（聞くこと・話すこと）	5 冬のものを見付けよう 冬のもの ・絵本を読む ・絵本に出てきた生き物や植物を図鑑で調べて、紹介する

例3

単元「クリスマス会を楽しもう」

主とする教科
<ul style="list-style-type: none"> 生活（日課・予定／役割） 国語（聞くこと・話すこと） 算数（数と計算） 特別活動

↓ ↑

教科	学習活動 計画
生活（日課・予定） 国語（聞くこと・話すこと） 特別活動	1 クリスマス会の計画を立てよう ・日時や交流相手校を確認する ・クリスマスに関する文化や風習を知る ・クリスマスにちなんだゲームや準備物を考える ・当日までの準備計画を立てる
生活（役割） 算数（数と計算）	2 クリスマスの飾りを作ろう 飾り作り ・役割分担をする ・必要な個数を確認し、過不足なく作る
生活（役割） 特別活動	3 ゲームの準備をしよう ゲームの準備 ・役割分担をする ・BGMにするクリスマスソングを決める ・ゲームに必要な物を準備する ・練習をする
特別活動	学校間交流（クリスマス会） メッセージ動画
生活（役割） 国語（聞くこと・話すこと）	4 メッセージ動画を送ろう ・メッセージの内容や役割を決める ・撮影する ・相手校に送る



「④主とする教科や主たる学習活動の検討」において、「主たる学習活動」と考えたものを、
で示しています。

⑤各単元の時数及び主とする教科に係る時数の概算

各単元における目標の達成や学びの深まりに必要な、時数や主とする教科に係る時数の割合を考えます。

例	1 学期				2 学期				3 学期		
	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
単 元	新入生をお迎えしよう ○時間 教 教 ↓ ↓ △ △ 学習活動 ・ _____ ・ _____	運動会を頑張ろう 7 時間 生 国 算 ↓ ↓ ↓ 2 2 2 学習活動 ・ 準備 ・ 招待状 ・ 得点表 ・ お礼状		季節の手紙を書こう ○時間 教 教 ↓ ↓ △ △ 学習活動 ・ _____ ・ _____		日本の祭りや世界の祭りを比べよう ○時間 教 教 教 ↓ ↓ ↓ △ △ △ 学習活動 ・ _____ ・ _____	学習発表会を成功させよう ○時間 教 教 教 ↓ ↓ ↓ △ △ △ 学習活動 ・ _____ ・ _____	新年の誓いを立てよう ○時間 教 教 教 ↓ ↓ ↓ △ △ △ 学習活動 ・ _____ ・ _____			かっこいい〇年生になろう ○時間 教 教 ↓ ↓ △ △ 学習活動 ・ _____ ・ _____
		オリジナルマップを作ろう ○時間 教 教 教 ↓ ↓ ↓ △ △ △ 学習活動 ・ _____ : _____ : _____ ・ _____ : _____ : _____			いろいろな仕事と働く人を調べよう ○時間 教 教 教 教 ↓ ↓ ↓ ↓ △ △ △ △ 学習活動 ・ _____ : _____ : _____ ・ _____ : _____ : _____						
			ありがとうを伝えよう ○時間 教 教 教 ↓ ↓ ↓ △ △ △ 学習活動 ・ _____ : _____ : _____ ・ _____ : _____ : _____			クリスマス会を楽しもう 12 時間 生 国 算 特 ↓ ↓ ↓ ↓ 3 3 2 2 学習活動 ・ 計画 ・ 飾り作り ・ ゲームの準備 ・ メッセージ動画					
			おにぎりを作ろう ○時間 教 教 教 ↓ ↓ ↓ △ △ △ 学習活動 ・ _____ : _____ : _____ ・ _____ : _____ : _____								
				季節の野菜を育てよう ○時間 教 教 教 教 ↓ ↓ ↓ ↓ △ △ △ △ 学習活動 ・ _____ : _____ : _____ ・ _____ : _____ : _____							
				季節を見付けよう 16 時間 生 国 算 図 ↓ ↓ ↓ ↓ 5 4 2 3 学習活動 ・ 春の絵を描く ・ 虫捕り ・ 落ち葉や木の実集め ・ 木の実のおもちゃ作り ・ 冬のもの							
	偶発的										

5 年間指導計画：⑤各単元の時数及び主とする教科に係る時数の概算

①単元の総時数

- 生活単元学習の週当たりの時数や、年間行事予定を踏まえ、月や学期の時数の目安を確認します。
- 単元における目標の達成や学びの深まりに必要な時数を考えます。
- 各単元の時数の合計が、生活単元学習の年間の時数と一致するように計画します。

【注 意】

小・中学校特別支援学級において、学級内における児童生徒によって週当たりの時数に違いがある場合は、週当たりの時数が最も多い児童生徒を基準にして考えること。

②主とする教科に係る時数

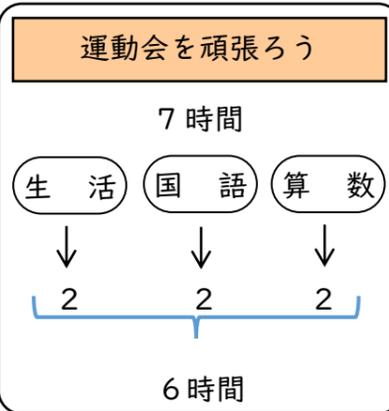
単元の総時数のうち、主とする教科に係る活動（時数）がどのくらいになるか、考えます。

【注 意】

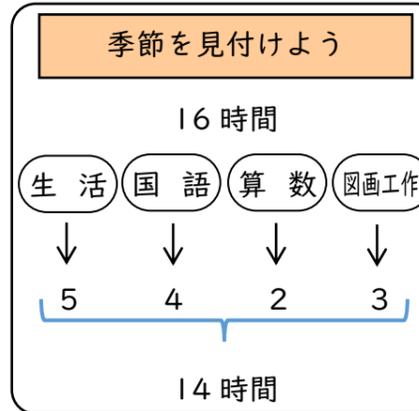
単元は、主とする教科だけで構成されるものではなく、複数の教科の要素が含まれているものであるため、主とする教科に係る時数の合計と単元の総時数は、一致しない。

例

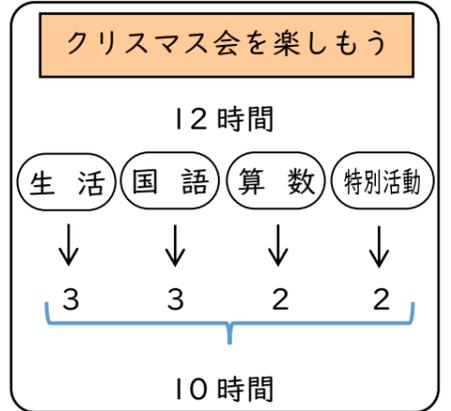
例 1



例 2



例 3



学習活動には、主とする教科に係る内容だけでなく「自立活動」に係る内容が含まれており、また、「教科別の指導で取り扱う教科」に係る内容も含まれているため、主とする教科に係る時数の合計と単元の総時数は、一致するものではありません。

⑥各教科等の総時数の確認

例

単元	1学期				2学期				3学期		
	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
偶発的	新入生をお迎えしよう 教科 教科 学習活動	運動会を頑張ろう 生活 国語 算数 学習活動 ・準備 ・招待状 ・得点表 ・お礼状		季節の手紙を書こう 教科 教科 学習活動		日本の祭りや世界の祭りを比べよう 教科 教科 教科 学習活動	学習発表会を成功させよう 教科 教科 教科 学習活動	新年の誓いを立てよう 教科 教科 教科 学習活動			かわいい〇年生になろう 教科 教科 学習活動
	オリジナルマップを作ろう				いろいろな仕事と働く人を調べよう						
	教科 教科 教科				教科 教科 教科 教科						
	学習活動				学習活動						
	ありがとうございますを伝えよう				クリスマス会を楽しもう						
	教科 教科 教科				生活 国語 算数 特活						
	学習活動				学習活動 ・計画 ・飾り作り ・ゲームの準備 ・メッセージ動画						
	おにぎりを作ろう				教科 教科 教科						
	学習活動				教科 教科 教科 教科						
	季節の野菜を育てよう				教科 教科 教科 教科						
学習活動				教科 教科 教科 教科							
季節を見付けよう				生活 国語 算数 図工							
学習活動				学習活動 ・春の絵 ・虫捕り ・落ち葉や木の実集め ・木の実のおもちゃ作り ・冬のもの							

単元名	時数	教科											
		生活	国語	算数	音楽	図画工作	体育	外国語活動	道徳	総合	特別活動	自立活動	合計
新入生を...	12	3	2	1							2	2	10
運動会を...	7	2	2	2								1	7
季節を見...	16	5	4	2		3						1	15
クリスマス...	12	3	3	2							2	2	12
新年の誓い...	10	3	3									1	7
かわいい...	24	8	4	5							2	3	22
合計	280	98	40	41		18					14	41	252

*自立活動は、「全ての単元でまんべんなく指導する」と考え、単元の時数に応じた時数を設定しています。主とする教科にはしていません。

5 年間指導計画：⑥各教科等の総時数の確認

X 合わせた教科と時数の確認・年間指導計画作成

⑤各単元の総時数及び各単元における主とする教科に係る時数を基に、各教科等の総時数（概数）を確認します。

単元名	時数	教科											
		生活	国語	算数	音楽	図画工作	体育	外国語活動	道徳	総合	特別活動	自立活動	合計
新入生を...	12	3	2	1							2	2	10
運動会を...	7	2	2	2								1	7
季節を見付...	16	5	4	2		3						1	15
クリスマス...	12	3	3	2							2	2	12
かわいい...	24	8	4	5							2	3	22
合計	280	98	40	41		18					14	41	252

各単元で「主とする教科」とした教科等の時数の合計を確認します。

時数の確認

「4 合わせた教科と時数の確認：生活単元学習で実施する時数（各教科等の時数の目安）」と「5 年間指導計画：⑥各教科等の総時数の確認」の整合性を確認します。大幅なずれや教科間の偏りがある場合は、「5 年間指導計画」を見直します。ただし、次の点に注意します。

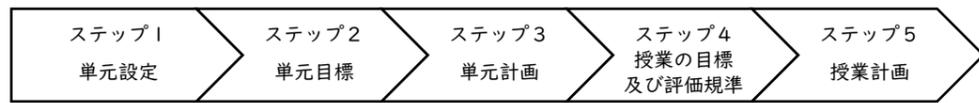
□「5 年間指導計画：⑥各教科等の総時数の確認」における時数は、概数であり、主とする教科として取り扱う時数であることに注意します。（主とする教科として取り扱わない単元にも含まれることを考慮します。）

生活単元学習で実施する時数

学年	教科	生活	国語	算数	音楽	図画工作	体育	道徳	外国語活動	総合	特別活動	自立活動	時数の合計
		4年	授業時数	175	70	70		20					35
	割合	6	6	7		10					6	6	
	生単の時数	105	42	49		20					21	42	279

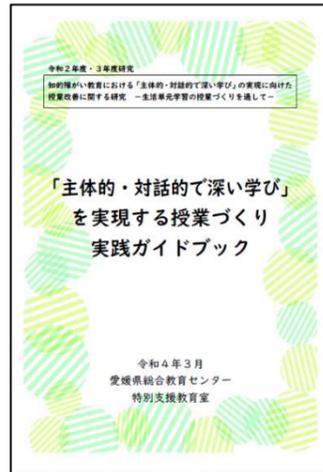
4 合わせた教科と時数の確認
生活単元学習で実施する時数（各教科等の時数の目安）

「単元設定」から「授業計画」は、令和2・3年度研究「知的障がい教育における「主体的・対話的で深い学び」に関する研究－生活単元学習の授業づくりを通して－」の成果である「単元・授業計画の考え方」に則して行います。「単元・授業計画の考え方」は、次の五つのステップで示しています。



令和2・3年度研究成果物「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくり実践ガイドブック」は、愛媛県総合教育センターのホームページからダウンロードできます。御活用ください。

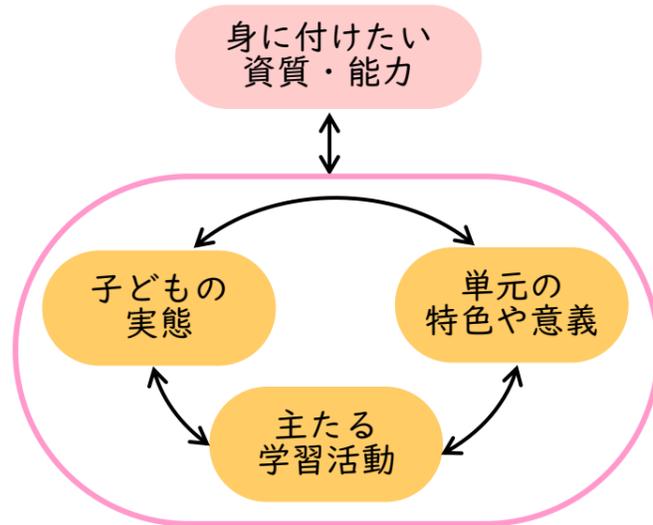
https://center.esnet.ed.jp/shiryu_top/kenkyuseika_r3



6 単元設定

身に付けたい資質・能力*を踏まえ、「子どもの実態」「単元の特色や意義」「主たる学習活動」について、相互の関連を見ながら整理し、単元を設定します。その際、「子どもの興味・関心や良さ、強みが生かされているか」「子どもの課題と単元の特色や主たる学習活動に整合性があるか」などの視点が大切です。

*身に付けたい資質・能力は、各教科や自立活動などの目標と関連したもの



①子どもの実態

学級や学習集団の子どもの興味・関心や、単元に関わる日常生活の様子、これまでの学習経験、集団としての強みや課題などを整理します。発達段階に応じた課題とともに、生活年齢に応じた課題やキャリア教育の視点からの課題も踏まえて、整理します。

②単元観

単元の特色や意義、主たる学習活動、期待される学習効果、単元を通して身に付けたい力や伸ばしたい力などを整理し、考えます。

③単元目標

身に付けたい資質・能力を、より具体化・明確化した単元目標を設定します。

○学級全体の単元目標

○子ども一人一人の単元目標

- (知識及び技能)
- (思考力、判断力、表現力等)
- (学びに向かう力、人間性等)

資質・能力の三つの柱で設定します。

6 単元設定：①子どもの実態

例 単元に関わる日常生活の様子及び課題の整理の例

単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)

本学級は4名の学級である。友達同士で関わり合っていて遊ぶことが多く、互いの行動にも関心が高い。個々に役割を担う経験はあるが、一つの目的に向かって共に取り組む経験は少ない。

6 単元設定：②単元観

例 単元の特色や意義の例

単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)

パーティーは、児童が興味・関心を持ちやすく、一人一人に応じた活動を設定しやすい。また、準備や片付けなどの活動は、家庭の役割を担うことにもつながりやすい。

6 単元設定：③単元目標

単元として取り上げる教材は、子どもの生活上の目標や課題に沿ったものであるため、教材や学習活動に沿った目標を立てます。

例 学級全体の単元目標

単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)

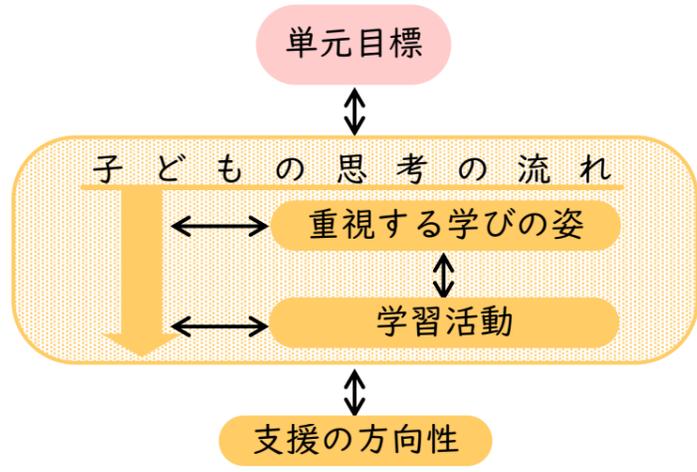
- 自動販売機でジュースを買ったり、パーティーの準備をしたりする。(知識及び技能)
- 教師や友達と計画したり、一緒に活動したりする。(思考力、判断力、表現力等)
- 友達と一緒に活動する楽しさを味わいながら、進んで役割を果たそうとする。(学びに向かう力、人間性等)

例 子ども一人一人の単元目標

Aさん	<ul style="list-style-type: none"> ○手順を確認しながら、自動販売機でジュースを買ったり、教室でコップや氷などの準備をしたりする。(知識及び技能) ○パーティーをするために必要なことが分かり、教師や友達に思いや考えを伝えたり、自分で考えて行動したりする。(思考力、判断力、表現力等) ○友達と一緒に活動する楽しさを味わい、同じ係になった友達と一緒に、進んで役割を果たそうとする。(学びに向かう力、人間性等)
Bさん	<ul style="list-style-type: none"> ○教師と一緒に手順書を確認しながら、自動販売機でジュースを買ったり、コップ系の仕事をしたりする。(知識及び技能) ○自分の係や活動内容が分かり、教師や友達に確認したり質問したりしながら、一緒に活動する。(思考力、判断力、表現力等) ○友達と一緒に活動する楽しさを味わいながら、自分の役割に最後まで取り組もうとする。(学びに向かう力、人間性等)



単元目標を達成するために必要な「子どもの思考の流れ」を軸として、単元を計画します。「単元のどこで、どのような「三つの学び」の姿を引き出すか」（「重視する学びの姿」）を決め、「その姿を引き出すための活動は何か」という視点から、学習活動を検討します。また、「重視する学びの姿」を子どもの具体的な行動（具体的な学びの姿）で示し、その行動を引き出したり、次の思考につなげたりするための支援の方向性を考えます。



学びの姿

補助資料2「授業等でねらいたい「三つの学びの姿」を活用しましょう。

①子どもの思考の流れと重視する学びの姿

主たる学習活動に沿って、「子どもがどのような思考の流れをたどれば目標が達成されるか」「目標を達成するために必要な「重視する学びの姿」は何か」を考えます。

学習活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
1 ●●●...				
(1)				
(2)	◎	○		
(3)				
(4)				
2 ●●●...				
(1)	○	○	○	
(2)				
(3)				
3 ●●●...				
(1)	◎	○		
(2)				
(3)				
4 ●●●...				
(1)	○	○		
(2)				

どんな思いや考えを、どんな順番で持ってほしいか、子どもの言葉で、思考の流れを考えます。

↓

子どもの思考に対応する「学びの姿」を考えます。

↓

単元全体を見通し、「重視する学びの姿」を決めます。

「主体的な学び」は、単元全体を通して常に必要な「学びの姿」であるため、「主体的な学び」の姿を重視する学習活動を◎で、そのほかの学習活動を○で示します。

「対話的な学び」、「深い学び」は、それぞれの「学びの姿」を重視する学習活動を○で示します。

7 単元計画：①子どもの思考の流れと重視する学びの姿

- 子どもにとって自然な流れであることや「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえます。
- 「主体的・対話的で深い学び」の姿を引き出すことによって、単元目標の達成を目指します。

例

単元「ジュースをかってパーティーをしよう」（特別支援学校 小学部3年）

学習活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
1 「おたのしみじどうはんばいき」をよもう				
(1)				
(2)	◎	○		
(3)				
2 じどうはんばいきをみつけよう				
(1)				
(2)	◎	○		
(3)				
3 ジュースをかってパーティーをしよう				
(1)	○	○	○	
(2)				
(3)				
4 みんなにおしえよう				
(1)				
(2)	○	○		
(3)				

自動販売機って面白い！使いたい！
興味・関心や期待感を持つ

友達のやり方をまねしてみよう！
互いの活動を見合う

自動販売機はどこにあるのかな？
目標や目的意識を持つ

お茶はどうやって買うのかな？
知識や技能を相互に関連付けたり、活用したりする
自分の好きなジュースを買いたいな。
課題を見付ける

みんなで協力すると楽しいな。
係の仕事をして良かったな。
友達と協働する

どうしたらできるかな。
課題解決に向けて活動する
できるようになったよ。
自分の成長を実感する

みんなにも、教えたいな。
どう言ったら伝わるかな。
自分の考えをまとめる

②学習活動及び各教科等の内容・評価の観点

どのような活動が「①子どもの思考の流れと重視する学びの姿」を引き出すのか、次の思考につながるのかという視点から、学習活動を考えます。「子どもの思考の流れと重視する学びの姿」と往還しながら考えます。

学習活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
1 ●●●●… (1) ●●●●… (2) ●●●●… (3) ●●●●… (4) ●●●●…				面白そうだな、やってみよう。 興味・関心や期待感を持つ
2 ●●●●… (1) ●●●●… (2) ●●●●… (3) ●●●●…	○	○	○	本当だ！どうしたらいいのかな？ 教師や友達とやり取りをする
3 ●●●●… (1) ●●●●… (2) ●●●●… (3) ●●●●…	◎	○		
4 ●●●●… (1) ●●●●… (2) ●●●●…	○		○	

①子どもの思考の流れと重視する学びの姿

重視する学びの姿			時数
主	対	深	
◎	○		

面白そうだな、やってみよう。
興味・関心や期待感を持つ

本当だ！どうしたらいいのかな？
教師や友達とやり取りをする

「興味・関心を引き出すための学習活動は？」
「対話のある活動をどの場面で、どう設定する？」

学習活動を設定



学習活動の設定

補助資料3「三つの学び」の姿を引き出すための年間指導計画・単元計画・授業計画を考える際のポイントを活用しましょう。

7 単元計画：②学習活動及び各教科等の内容・評価の観点

例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」（特別支援学校 小学部3年）

学習活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
1 「おたのしみじどうはんばいき」をよもう (1) オリジナル仕掛け絵本を読む。 (2) 自動販売機の模型で遊ぶ。 (3) 自動販売機を探しに行くことを知る。	◎	○		自動販売機って面白い！使いたい！ 興味・関心や期待感を持つ
2 じどうはんばいきをみつけよう (1) 自動販売機を探しに行く。 (2) 先生がお茶を買う様子を見る。 (3) 振り返りをする。	◎		○	友達のやり方をまねしてみよう！ 互いの活動を見合う
3 ジュースをかってパーティーをしよう (1) 準備物や係を知る。 (2) 係を話し合って決める。 (3) パーティーをする。 (4) 振り返りをする。 ・係を交代しながら、計4回パーティーを行う。	○	○	○	自動販売機はどこにあるのかな？ 目標や目的意識を持つ
4 みんなにおしえよう (1) パーティーを振り返る。 (2) ジュースの買い方を教える準備をする。 (3) 友達に教える。	○		○	お茶はどうやって買うのかな？ 知識や技能を相互に関連付けたり、活用したりする 自分の好きなジュースを買いたいな。 課題を見付ける
				みんなで協力すると楽しいな。 係の仕事をして良かったな。 友達と協働する
				どうしたらできるかな。 課題解決に向けて活動する できるようになったよ。 自分の成長を実感する
				みんなにも、教えたいな。 どう言ったら伝わるかな。 自分の考えをまとめる

また、主とする教科の内容と学習活動の関連性を往還しながら検討し、各教科等の内容や評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」）を決定します。なお、「主体的に学習に取り組む態度」は、単元全体を通して評価します。

学習活動	重視する学びの姿			主とする教科の内容及び評価の観点	時数
	主	対	深		
1 ●●●… (1) ●●●… (2) ●●●… (3) ●●●… (4) ●●●…	◎	○			
2 ●●●… (1) ●●●… (2) ●●●… (3) ●●●…	○	○	○		
3 ●●●… (1) ●●●… (2) ●●●… (3) ●●●…	◎	○			
4 ●●●… (1) ●●●… (2) ●●●…	○		○		

7 単元計画：②学習活動及び各教科等の内容・評価の観点

例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」
(特別支援学校 小学部3年)

単元のどこでどの教科の内容に重点を置くか検討し、学習活動に応じて、教科の内容や評価の観点を示します。

学習活動	重視する学びの姿			主とする教科の内容及び評価の観点	時数
	主	対	深		
1 「おたのしみじどうはんばいき」をよもう (1) オリジナル仕掛け絵本を読む。 (2) 自動販売機の模型で遊ぶ。 (3) 自動販売機を探しに行くことを知る。	◎	○		国語（知識・技能） 生活－遊び（思考・判断・表現）	1
2 じどうはんばいきをみつけよう (1) 自動販売機を探しに行く。 (2) 先生がお茶を買う様子を見る。 (3) 振り返りをする。	◎		○	生活－きまり（思考・判断・表現） 生活－金銭の扱い（知識・技能） 国語－聞くこと・話すこと（思考・判断・表現）	2
3 ジュースをかってパーティーをしよう (1) 準備物や係を知る。 (2) 係を話し合って決める。 (3) パーティーをする。 (4) 振り返りをする。 →役割を交代しながら、計4回行う	○	○	○	生活－役割（思考・判断・表現） 生活－役割（思考・判断・表現）/金銭の扱い（知識・技能） 国語（知識・技能） 算数－数と計算（知識・技能）	9
4 みんなにおしえよう (1) パーティーを振り返る。 (2) ジュースの買い方を教える準備をする。 (3) 友達に教える。	○		○	国語（知識・技能） 国語－聞くこと・話すこと（思考・判断・表現）	1

単元における主とする教科に係る時数を考慮しながら、検討します。

③具体的な学びの姿

「①子どもの思考の流れと重視する学びの姿」で、◎や○を付けた「重視する学びの姿」がどのような行動として見られることをねらうか、子どもの実態に応じて具体的な行動をイメージします。

例

活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
●●●…	○	○	○	
●●●…				

〇〇さんの次が、ぼくの係だ。
友達と協働する

自分の役割が分かり、友達の様子を見たり、友達の発言を聞いたりしながら、自分の役割に取り組む。

④支援の方向性

「どのような支援を行えば、「③具体的な学びの姿」を引き出すことができるか」「次の子どもの思考へとつなげることができるか」という視点から、支援の方向性を考えます。

7 単元計画：③具体的な学びの姿 ④支援の方向性

例 自動販売機って面白い！使いたい！
興味・関心や期待感を持つ

自分から行動に移したり、友達の行動に注目したりする。

体験を通して楽しさを感じられるよう、仕掛け絵本や自動販売機の模型を用いる。

みんなで協力すると楽しいな。
友達と協働する

自分の係が分かり、友達の行動を確認しながら取り組む。

二人組の係を設定し、友達の動きを意識して取り組めるよう、手順書を工夫する。

8 授業の目標及び評価規準

授業の目標を設定します。また、具体的な学習活動に応じて評価規準を明確にします。

①学級全体の授業の目標

②子ども一人一人の授業の目標

- 〔評価規準〕 ○ (知識・技能)
○ (思考・判断・表現)
○ (主体的に学習に取り組む態度)

三つの観点で設定します。

「授業の目標」の考え方

- 1単位時間の授業における学習活動に対して、一つの行動目標を立てる。
- 「授業の目標＝教科の目標」にならないことに、注意する。(授業の目標≠教科の目標)

「評価規準」の考え方

例1 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)
授業の目標：友達と二人で、コップ係の仕事に取り組む。

評価規準

- ・ コップ係がすることが分かり、手順に沿って行っている。 (知識・技能)
知識 技能
- ・ 状況を見て、コップ係の仕事をしている。 (思考・判断・表現)
期待する子どもの思考 具体的な子どもの行動
- ・ 友達に合わせたり働き掛けたりしながら、コップ係の仕事をしている。
視点：協働性 具体的な子どもの行動
(主体的に学習に取り組む態度)

例2 単元「暑中見舞いを出そう」(特別支援学校 中学部3年)
授業の目標：タブレット端末を使って工夫しながら通信面を作成する。

評価規準

- ・ タブレット端末の使い方が分かり、操作している。 (知識・技能)
知識 技能
- ・ 教師に助言を求めたり、意見を聞いたりしながら、通信面を作成している。
期待する子どもの思考 具体的な子どもの行動
(思考・判断・表現)
- ・ 受取人に喜んでもらえるように、時間一杯作成しようとしている。
視点：他者との関わり 具体的な子どもの行動
(主体的に学習に取り組む態度)



8 授業の目標及び評価規準

○各教科等の目標は、「7 単元計画：主とする教科の内容及び評価の観点」で示した学習活動において、学習活動として設定する。→「9 授業計画：各教科等の目標に係る活動の内容等の設定」



Point

□知識・技能：各教科等における学習の過程を通じた「知識及び技能」の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の「知識及び技能」と関連付けたり活用したりする中で、ほかの学習や生活の場面でも活用できるよう、概念等を理解したり技術を習得したりしているかについても評価する。

評価規準の例

- 「◇◇は、○○であることを理解している。」(知識)
- 「◇◇において、△△している。」(技能)
- 「○○であることを理解し、△△している。」(知識/技能)

□思考・判断・表現：各教科等の「知識及び技能」を活用して課題を解決する等のために必要な「思考力・判断力・表現力等」を身に付けているかを評価する。

評価規準の例

- 「○○して、△△している。」
- 「○○しながら、△△している。」
- *○○：期待する子どもの思考
例) 比較する/試す/見通す/工夫する/意識する など
- △△：具体的な子どもの行動
例) 表現する/遊ぶ/観察する/伝える/確かめる など

□主体的に学習に取り組む態度：単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、「知識及び技能」を習得したり、「思考力・判断力・表現力等」を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうか、という意思的な側面を評価する。

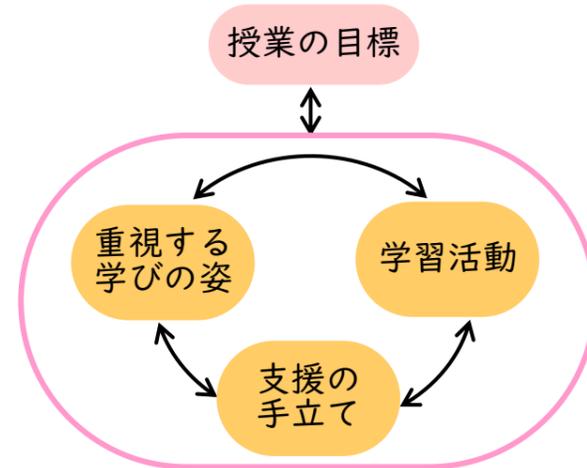
〔評価の視点〕粘り強さ/学習の調整/実感や自信/自己理解や他者理解
主体性/協働性/将来や社会との関わり など

評価規準の例

- 「○○し、△△しようとしている。」
- *○○：粘り強さや学習の調整、実感や自信、自己理解や他者理解、主体性、協働性、将来や社会との関わり など
- 例) 繰り返して/協力して/友達のアイデアを取り入れて など
- △△：具体的な子どもの行動



「重視する学びの姿」「学習活動」「支援の手立て」について考え、授業計画を立てます。「重視する学びの姿」「学習活動」「支援の手立て」は、独立しているものではなく、相互に関係し合うものです。そのため、全体及びそれぞれの妥当性を往還しながら検討し、決定していきます。



学びの姿

補助資料2「授業等でねらいたい「三つの学びの姿」を活用しましょう。

a 重視する学びの姿

「ステップ3 - ③具体的な学びの姿」が、「どのような行動として見られることをねらうか」、概略を考えます。

例

活動	重視する学びの姿			時数
	主	対	深	
...				
...	○	○	○	
...				

〇〇さんの次が、ぼくの係だ。
友達と協働する

自分の役割が分かり、友達の様子を見たり、友達の発言を聞いたりしながら、自分の役割に取り組む。

概略

自分の係や友達の係が分かる。 友達の言葉掛けに応じる。 友達のやり方をまねる。

また、学習活動との整合性を確認しながら、「重視する学びの姿」をどの場面でねらうか、「具体的にどのような行動で表れるか」を考えます。

学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
●●●●●...	●●●●●...	
2 ●●●●●...		
(1) ●●●●●...	主: ●●●●●●●●	
(2) ●●●●●...	対: ●●●●●●●●	
(3) ●●●●●...	●●●●●●●●	
3 ●●●●●...		

例 「重視する学びの姿」の概略

友達の言葉掛けに応じる。

対: 友達から必要な個数を聞いてから、〇〇を準備する。

9 授業計画: a 重視する学びの姿 b 学習活動

例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)
学習活動3: ジュースをかってパーティーをしよう (パーティー: 3回目)

b 学習活動	a 重視する学びの姿	支援の手立て
1 ジュースを買って、パーティーをすることを思い出す。	主: 学習内容を思い出し、期待感を持つ。	
2 自分の係を知る。	主: 係の活動内容を知り、期待感を持つ。	
3 係の活動を行う。 コップ系の活動 ①机を動かす。(二人) ②台拭きをして、トレイを配る。 ③コースターとストローを配る。 ④飾り作りの道具と片付けトレイを用意する。 ⑤飾りを作る。(二人) ⑥氷を取りに行く。(二人) ⑦コップに氷を入れ、配る。	対: 友達の動きを見て確認したり、友達の活動を待ったり、活動を促したりする。 深: できていないことや足りないものに気づき、自分で解決しようとする。	
4 パーティーをする。 (1) パーティーをする。 (2) 突然の来客に対応する。	深: 係の仕事をしてよかったと思う。 深: お客さんの机やコップ等が必要なことに気づき、自分たちで準備する。	
5 学習のまとめをする。	対: 友達の活動にも注目する。 深: 自分の成長に気付く。 主: 「もっとやりたい」と更に意欲を高める。	

b 学習活動

学習活動の流れを考えます。また、学習活動によって子どもの役割があるときは、子ども一人一人の役割やグルーピングを考えます。

学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
1 ●●●●●●●●●● (1) ●●●●●●●●●● (2) ●●●●●●●●●●	「重視する学びの姿」を踏まえ、子どもの思考の流れを考えながら、学習活動の流れを検討します。	
2 ●●●●●●●●●● (1) ●●●●●●●●●● (2) ●●●●●●●●●● (3) ●●●●●●●●●●		
3 ●●●●●●●●●●	子ども一人一人の、身に付けたい資質・能力や興味・関心などを踏まえ、子ども一人一人に応じた、力を発揮できる役割を考えます。	

9 授業計画：b 学習活動 各教科等の目標に係る活動の内容等の設定

- 単元を通して、どの程度まで目標の達成をねらうか、明確にします。
- 子ども一人一人の各教科等の目標に応じて、活動の内容や役割を設定します。

活動の状況をもって評価を行います。(評価規準となる活動を設定します。)

例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)
学習活動3：ジュースをかってパーティーをしよう(パーティー：3回目)

【知識及び技能】 算数－数と計算

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
目標(段階)	・数える対象を2ずつや5ずつのまとまりで数える。(3段階)	・10までの個数を正しく数える。(2段階)	・ものものを対応させながら個数を比べ、同等であることが分かる。(2段階)		
活動の内容 役割	・ストローを2ずつ数えながら8本になるようにし、籠に入れる。	・ストローを、8本ずつ籠に入れる。	・ストローと対応させながら、紙コップが8個あるか確認する。		

目標(段階)との整合性があること

目標の段階が異なるが、「ストローを数える」という活動は同じで、数え方が異なる。

目標の段階は同じだが、ねらいが異なるため、活動の内容が異なる。

ほかの教科の目標に応じた活動(役割)を設定し、別の時間に扱う。

学習活動によっては、子ども(グループ)によってねらいとする教科が異なる場合があります。その場合、別の時間に該当教科の目標に応じた活動ができるよう、計画的に実施します。

【思考力、判断力、表現力等】 国語－聞くこと・話すこと

	Aさん	Bさん	Cさん	Dさん	Eさん
目標(段階)	・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付ける。(3段階)	・挨拶をしたり、簡単なせりふなどを表現したりする。(2段階)	・簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をする。(2段階)		
活動の内容 役割	・ゆっくりと友達に聞こえる声の大きさに、司会をする。	・「始めの言葉」と「終わりの言葉」を言う。	・司会の言葉掛けに応じて、「頂きます」の号令を掛ける。		

【学びに向かう力、人間性等】

- 単元全体を通して評価します。



教科等の目標

教科等の目標は、「特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小学部・中学部)」及び「特別支援学校学習指導要領解説知的障害者教科等編(高等部)」に掲載されている付録【目標・内容の一覧】を活用しましょう。

X 学習目標段階 Check 表

例 【思考力、判断力、表現力等】 国語－聞くこと・話すこと

3段階	
オ	相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。
目標(段階)	Aさん ・相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付ける。(3段階)

c 支援の手立て

学習活動の流れに沿って、具体的な支援の手立てを考えます。

① 「重視する学びの姿」を引き出すための支援の手立て

「重視する学びの姿」を引き出すための、支援の手立てを考えます。

② 学級全体への支援の手立て

学級全体の実態を踏まえた、基礎的な支援の手立てを考えます。

③ グループや子ども一人一人への支援の手立て

グループの活動に応じた支援の手立てや、個別に必要な支援の手立てを考えます。

学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
1 ●●●●●...		
(1) ●●●●●...	主：●●●●●	●●●●●
(2) ●●●●●...	主：●●●●●	●●●●●
2 ●●●●●...		
(1) ●●●●●...	主：●●●●●	●●●●●
(2) ●●●●●...	対：●●●●●	●●●●●
(3) ●●●●●...	対：●●●●●	●●●●●
3 ●●●●●...	深：●●●●●	●●●●●

場の設定や課題の提示方法、
教具の工夫、言葉掛けの仕方、
場面設定など。

例 「重視する学びの姿」
対：友達から必要な個数を聞いてから、○○を準備する。

・工程表に担当児童の写真を掲示し順番を示すと同時に、△△係は依頼する友達の名前を呼ぶようにする。



支援の手立て

補助資料3 「三つの学び」の姿を引き出すための年間指導計画・単元計画・授業計画を考える際のポイントを活用しましょう。

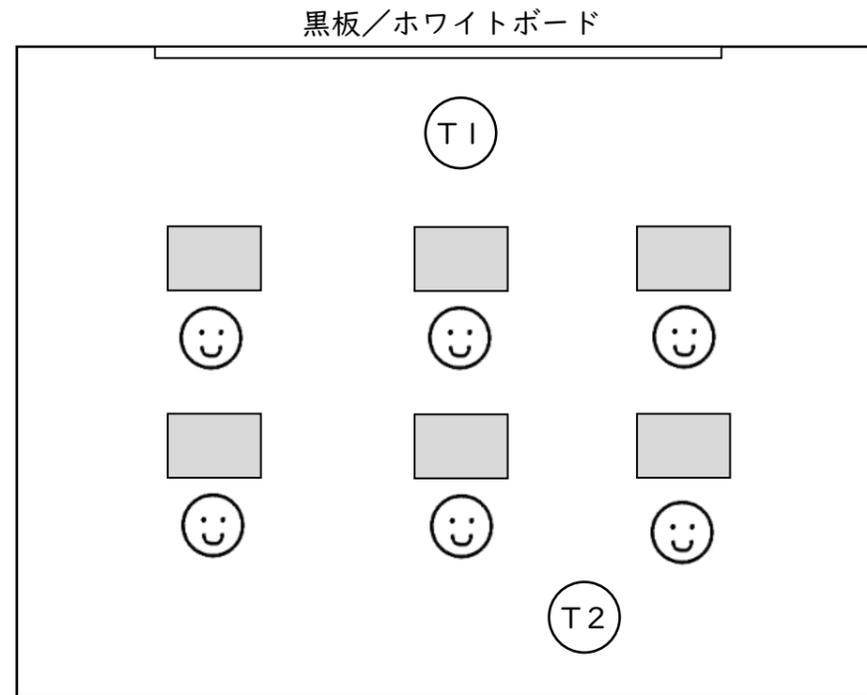
9 授業計画：c 支援の手立て

例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)
学習活動3：ジュースをかってパーティーをしよう(パーティー：3回目)

学習活動	重視する学びの姿	支援の手立て
1 ジュースを買って、パーティーをすることを思い出す。	主：学習内容を思い出し、期待感を持つ。	・パーティーをすることを思い出せるように、カレンダーの「パーティーシール」を示す。
2 自分の係を知る。	主：係の活動内容を知り、期待感を持つ。	・役割を分かりやすくするとともに、期待感を持てるよう、係ボードや道具、エプロン等を示す。 ・自分の行う行動が意識できるように、何の係をするか発表する場を設ける。
3 係の活動を行う。 <u>コップ系の活動</u> ①机を動かす。(二人) ②台拭きをして、トレイを配る。 ③コースターとストローを配る。 ④飾り作りの道具と片付けトレイを用意する。 ⑤飾りを作る。(二人) ⑥氷を取りに行く。(二人) ⑦コップに氷を入れ、配る。	対：友達の動きを見て確認したり、友達の活動を待ったり、活動を促したりする。 深：できていないことや足りないものに気づき、自分で解決しようとする。	・二人一組で仕事をすることが分かるように、コップ系の手順書(「お仕事ボード」)を提示する。 ・活動の順番を意識できるように、「お仕事ボード」の見方を教え、活動の順番を意識付ける。 ・自発的な言動を待つ。 ・使用する道具を、手順に沿って、整理して置く。
4 パーティーをする。 (1) パーティーをする。 (2) 突然の来客に対応する。	深：係の仕事をしてよかったと思う。 深：お客さんの机やコップ等が必要なことに気づき、自分たちで準備する。	・互いに感謝の言葉を伝えるようにする。 ・状況に気づくような発言をしたり、反応を待ったりする。
5 学習のまとめをする。	対：友達の活動にも注目する。 深：自分の成長に気付く。 主：「もっとやりたい」と更に意欲を高める。	・友達と協力したことを感じられるように、一人一人の活動を動画で紹介しながら、頑張ったところを称賛する。 ・カレンダーを使って、次時の活動を伝える。

d環境設定

学習活動に応じた場の設定や教員の役割を考えます。



「活動に適しているか」「学習活動によって変更は必要か」「子どもの動線を踏まえているか」「子ども同士の関わりやすさはどうか」などの視点から、場の設定を考えます。

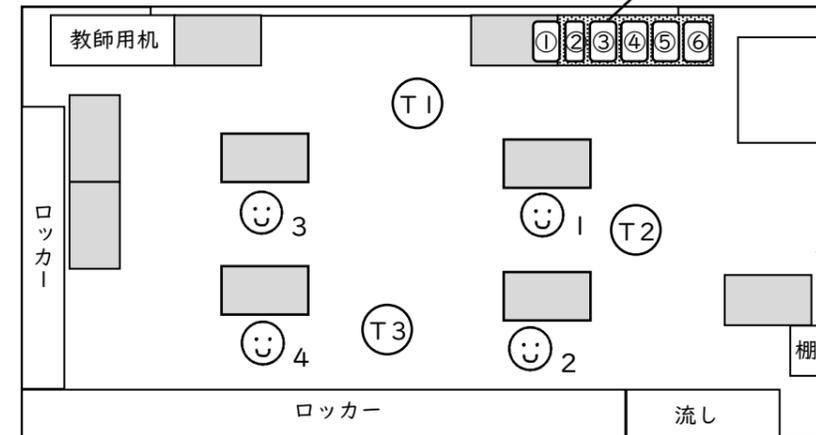
学習活動や子どもの実態を踏まえて、教員の役割を考えます。

9 授業計画：d環境設定

学習活動に応じて、子どもの活動のしやすさや子ども同士の関わりやすさ、子どもの実態を踏まえ、物の配置や教員の役割を考えます。

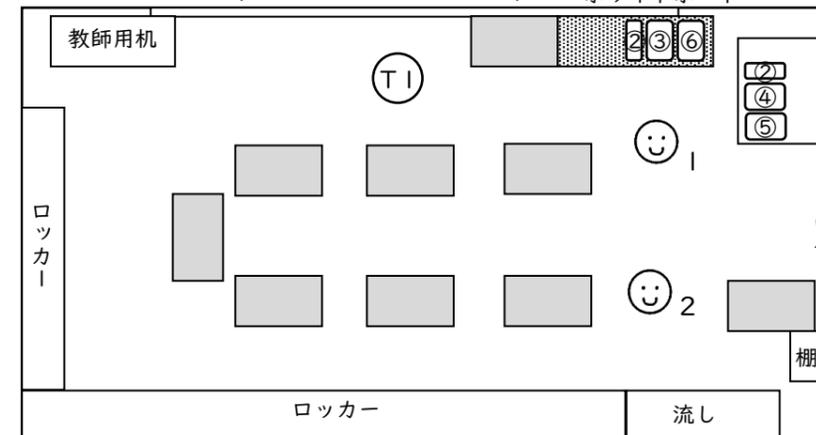
例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」（特別支援学校 小学部3年）
学習活動3：ジュースをかってパーティーをしよう（パーティー：3回目）

学習活動1・2・5



- ① 財布・ナップサック・エプロン
- ② トレイ
- ③ 水運搬用籠
- ④ 水切り籠・ナイロン袋
- ⑤ コースター・ストロー・トング
布巾
- ⑥ 飾り作りセット（画用紙・ひも・ビーズ・2つ穴パンチ・パンチ用補助具）

学習活動3・4（セッティングの仕方）



- 児童机
- 作業台
- ▨ 低作業台
- 😊 児童
- ⊙ T1 ⊙ T2 ⊙ T3 教師

〔コップ係〕

- 😊 1…台拭き・ストロー・片付けトレイ・ひも通し（飾り作り）・氷3個
- 😊 2…トレイ・コースター・飾り作りの道具・パンチ（飾り作り）・コップ
- ⊙ T1

〔ジュース係〕

- 😊 3・😊 4…相談して決めた2種類のジュースを、1本ずつ自動販売機で買う。
- ⊙ T2 ⊙ T3

評価の3観点に基づき、「授業の目標」「単元目標」「教科の目標」の評価を行います。

- 行動観察によって子どもの姿を継続的に捉え、一人一人の学びを評価します。
- 評価規準と照らし合わせ、子どもの具体的な行動を基に評価します。
- 学習評価を基に、授業の目標や単元目標は適切であったか、支援の手立ては適切であったかなど、指導を見直し、改善を図ります。
- 単元を通した子どもの成長を、次の学習につなげ、生かします。

a 授業の目標の評価

- 学習活動に応じて設定した一つの行動目標を、評価の3観点に基づき評価します。
- 学習評価を、次時の目標の設定や指導方法、支援の手立てに生かします。
- 授業においては、知識・技能を活用したり考えたりする場面の設定や、学習に対する見通しを持つための支援の工夫、学習の振り返りの工夫が大切です。

b 単元目標の評価

- 資質・能力の三つの柱で設定した単元目標を、評価の3観点に基づき評価します。「学級全体の単元目標」及び「子ども一人一人の単元目標」の裏返しですが、評価規準になります。
- 単元においては、各教科等で学習したことや身に付けた知識・技能を活用する課題設定や単元展開、単元での学びを振り返りつつ実際の生活に生かそうとする意欲を高める単元展開が大切です。



Point

- 評価規準に則して、目標をどの程度達成したか評価する。
- 行動観察やパフォーマンス評価に加え、ポートフォリオの活用や自己評価・他者評価など、評価方法を工夫する。
- 学習評価を基に学習指導の評価を行い、授業改善に生かす。



10 学習評価：a 授業の目標の評価 b 単元目標の評価

適切な学習評価を行うためには、「明確な評価規準」「評価方法の工夫」が大切です。また、学習評価を授業改善に生かすことが大切です。

「単元目標に対する評価規準」の考え方

例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」(特別支援学校 小学部3年)

学級全体の単元目標を、子どもの実態に応じてより具体的にします。

単元において目指す資質・能力(子ども一人一人の単元目標)を身に付けた「子どもの姿」を示します。

学級全体の単元目標	Aさんの単元目標	Aさんの評価規準	Aさんの評価
○自動販売機でジュースを買ったり、パーティーの準備をしたりする。 (知識及び技能)	○手順を確認しながら、自動販売機でジュースを買ったり、教室でコップや氷などの準備をしたりする。 (知識及び技能)	○手順を確認しながら、自動販売機でジュースを買ったり、教室でコップや氷などの準備をしたりしている。 (知識・技能)	友達の行動を見て自動販売機の使い方を理解し、ジュースを買うことができた。自分で手順書を確認しながら、コップや氷、机などの準備をした。
○教師や友達と計画したり、一緒に行動したりする。 (思考力、判断力、表現力等)	○パーティーをするために必要なことが分かり、教師や友達に思いや考えを伝えたり、自分で考えて行動したりする。 (思考力、判断力、表現力等)	○パーティーをするために必要なことが分かり、教師や友達に思いや考えを伝えたり、自分で考えて行動したりしている。 (思考・判断・表現)	手順書の見方や二人組でのコップ系の活動の仕方が分かり、互いの行動を確認したり、教え合ったり、友達の手伝いをしたりしながら、仕事をした。
○友達と一緒に活動する楽しさを味わいながら、進んで役割を果たそうとする。 (学びに向かう力、人間性等)	○友達と一緒に活動する楽しさを味わい、同じ係になった友達と一緒に、進んで役割を果たそうとする。 (学びに向かう力、人間性等)	○友達と一緒に活動する楽しさを味わい、同じ係になった友達と一緒に、進んで役割を果たそうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	教師や友達と一緒にパーティーをすることを楽しみにしながら、コップ系の役割に進んで果たそうとする姿が、回を重ねるごとに増えた。

c 教科の目標の評価

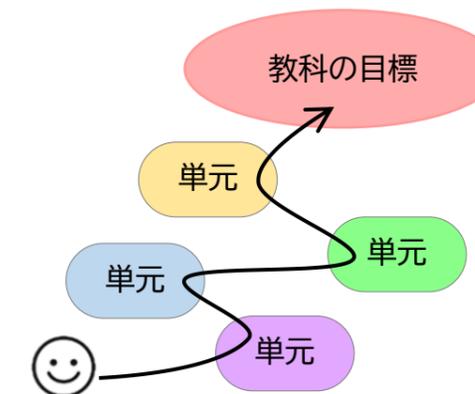
- 生活単元学習として「合わせた教科」について、評価します。
- 授業後や単元終了後には、授業及び単元における「学習活動の中で、子どもが実際に取り組んだ教科に係る活動」に対する評価を行います。

・活動の流れの中で、評価します。
・教科の目標に対する「学習状況」を確認します。

- 学期ごとや学年末に、教科の目標の評価を行います。

10 学習評価：c 教科の目標の評価

教科の目標は、一つの単元で達成されるものではなく、複数の単元を通じた学習の積み重ねの中で、達成されるものだと考えます。そのため、単元における学習活動の中で、子どもが実際に取り組んだ教科の内容に対する評価を行い、学習状況の確認を重ねていくことが、学期又は年間を通じた教科の目標の評価につながると考えます。



- 例 単元「ジュースをかってパーティーをしよう」（特別支援学校 小学部3年）
学習活動3：ジュースをかってパーティーをしよう（パーティー：3回目）

【授業後】 算数－数と計算（知識・技能）

	Aさん	Bさん	Cさん
目標 (段階)	・数える対象を2ずつや5 ずつのまとまりで数え る。(3段階)	・10までの個数を正しく 数える。(2段階)	・ものものを対応させな がら個数を比べ、同等で あることが分かる。 (2段階)
活動の内容 役割	・ストローを2ずつ数えな がら8本になるよう にし、籠に入れる。	・ストローを、8本ずつ籠 に入れる。	・ストローと対応させな がら、紙コップが8個ある か確認する。
評価 学習状況	「に、し、ろ、は。」と声 に出しながら、数えた。	教師と一緒に、数唱しな がら数えた。8回中3回 は、一人で正しく数えた。	教師の数唱に合わせて、 紙コップを配り、足りない ときは、教師に伝えた。

【単元終了後】 算数－数と計算（知識・技能）

	Aさん	Bさん	Cさん
目標 (段階)	・数える対象を2ずつや5 ずつのまとまりで数え る。(3段階)	・10までの個数を正しく 数える。(2段階)	・ものものを対応させな がら個数を比べ、同等で あることが分かる。 (2段階)
活動の内容 役割	・ストローを2ずつ数えな がら8本になるよう にし、籠に入れる。	・ストローを、8本ずつ籠 に入れる。	・ストローと対応させな がら、紙コップが8個ある か確認する。
評価 学習状況	ゆっくりであれば、2ず つのまとまりで10まで正 しく数えた。	間違えることもあるが、 8までの個数を正しく数 えることが増えた。	教師の数唱に合わせな がら、比べた。違うときは、 指差して教師に伝えた。



「積み重ねの中で、達成される」ためには

いろいろな単元のつながりや発展性があることで、教科の目標が達成されていくと考えます。そのため、年間指導計画の作成において、単元間のつながりや発展性を考えることが大切です。